

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Test 1. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Test 1. Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	2年	担当教員	鈴木晴奈	3	Test 1. Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC対策Ⅱ	時間数	136単位時間	4	Test 1. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	TOEIC L&Rテスト 究極の模試600問+			6	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	TOEIC(R)L&Rテスト 英単語 ゼロからスコアが稼げるドリル			7	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付ける 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				10	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題				14	Test 2. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	Test 2. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				16	Test 2. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				17	Test 2. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				18	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				19	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				20	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
評価方法・成績評価基準				21	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				24	Test 3. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
				25	Test 3. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				26	Test 3. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				27	Test 3. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				28	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				29	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				30	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				31	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
実務経験教員の経歴				32	Test 3. Part7 読解問題	リーディング力の向上
貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				33	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	5月受験対策				
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	5月受験対策				
学年	2年	担当教員	小林、皆川、寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	5月受験対策				
科目名	English Strategy 英検対策Ⅱ	時間数	136単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	5月受験対策				
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	5月受験対策				
使用テキスト名	2024年度版 英検2級過去問題集			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	5月受験対策				
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	5月受験対策				
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	5月受験対策				
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	5月受験対策				
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け準2級取得に向け対策する。				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策				
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策				
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策				
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策				
				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策				
授業の進め方・学習方法・課題				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策				
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策				
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策				
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策				
				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策				
評価方法・成績評価基準				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策				
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策				
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策				
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策				
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策				
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策				
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策				
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策				
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
								33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
								34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1: People	Meet people; Ask personal info
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2		Describe people & occupations; compare
学 年	2年	担当教員	Mark, Maya, Neil	3	Unit 2: A day in the Life	Talk about typical day; free time
科 目 名	Speaking II	時間数	170単位時間	4		Describe special days, hobbies, interests
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5		Plan a party (Group work)
使用テキスト名	Talk A Intermediate			6	Unit 3: Going Places	Possessions, Travel info, Ask & Give advice
補助教材				7		Describe a place & Plan a vacation
				8		Give presentaion about a vacation
科目概要と科目到達目標				9	Review: Vocab & Speaking	Q & A about your Vacation plan!
科目到達目標: Outputにフォーカスを置き、発音、聞き取りを総合的に習い、スピーキング力向上を図る。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4: Food	Recipe, menus, ordereing
				11		Talk about diets, Plan a farm or garden
				12		Role play: in a resturant, ordering online
				13	Unit 5: Sports	Activities, favotire sports, compare
				14		Frequency of activity, survey
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Vocab & Speaking	More role play for activities (Sports or Food)
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16		Review vocab & Grammar
				17	Test (First five unit test)	Test
				18	Unit 6: Destinations	Past vacations, weekend; asking about places
				19		Fdescribe qan Ancient place; find and share info online
				20	Unti 7: Communication	Personal communication, exchanging info
評価方法・成績評価基準				21		Describe sights, sounds & other sensations
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unti 8: Making Plans	Short term or long term, Predictions or opinions about future
				23		Solve problems; discuss personality
				24	Review: Vocab & Speaking	Group presentation (Introduction)
				25		Give presentaion about the future; Q&A
				26	Unti 9: Types of Clothing	Compare and buy clothes, Role play shopping
				27		Describe and discuss fashion
				28	Unti 10: Lifestyles	Discuss healthy & unhealthy habits
				29		Lifetyles & Happiness
				30	Unti 11: Achievements	Interview for job, Talk about self achievements
				31		Plan for success, write resume (English)
実務経験教員の経歴				32	Review: Vocab & Speaking	Prepare for final test
				33		Role play interview
				34		Vocab & Grammar test

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文型①	文法の基礎
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	文型②	文法の基礎
学 年	2年	担当教員	皆川/小林/坂上	3	文型③	文法の基礎
科 目 名	Grammer & Writing II	時間数	68単位時間	4	文型④	文法の基礎
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	文型⑤	文法の基礎
使用テキスト名	基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル、とてもやさしい英文法			6	時制①	文法の基礎
補助教材				7	時制②	文法の基礎
				8	時制③	文法の基礎
科目概要と科目到達目標				9	不定詞・動名詞①	文法の基礎
科目到達目標:基礎的な文法から応用まで、基礎的な文法をマスターしたうえで複雑な文法まで理解・記憶し、英検やTOEICでのスコアアップを目指し、会話においても正確な発話に結びつける。				10	不定詞・動名詞②	文法の基礎
				11	不定詞・動名詞③	文法の基礎
				12	受動態・分詞①	文法の基礎
				13	受動態・分詞②	文法の基礎
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	関係詞①	応用
初級、中級、上級とレベル別のクラス編成をし、復習を兼ねながら文法のベーシックを学ぶ。 基礎力を身に付け、読解やリスニング、発話においても正確性を重視する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	関係詞②	応用
				17	比較①	応用
				18	比較②	応用
				19	仮定法①	応用
				20	仮定法②	応用
評価方法・成績評価基準				21	仮定法③	応用
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	さまざまな構文や表現①	応用
				23	さまざまな構文や表現②	応用
				24	さまざまな構文や表現③	応用
				25	接続詞・前置詞①	応用
				26	接続詞・前置詞②	応用
				27	重要名詞	応用
				28	重要形容詞	応用
				29	重要動詞	応用
				30	助動詞	応用
				31	重要フレーズ①	応用
				32	重要フレーズ②	応用
実務経験教員の経歴				33	重要フレーズ③	応用
貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学 年	2年	担当教員	Mark Palmer	3	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
科 目 名	Business&Public Speaking II	時間数	68単位時間	4	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
使用テキスト名	Successful Presentations			6	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
補助教材				7	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				8	UNIT 3 Family	Details, Gesture
科目概要と科目到達目標				9	UNIT 3 Family	Details, Gesture
科目概要:グループで紹介したい商品を売り出すための戦略をたてプレゼンテーションを行う。				10	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
科目到達目標:全員でグループになり、戦略をたて、プレゼンテーションを作成することで学生同志の競争力やモチベーションとなり、調べることで英語力が上達し、人前に立つことに慣れ、協調性も芽生える。				11	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				12	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				13	UNIT 5 Education	Introctory Phrases, Projection
				14	UNIT 5 Education	Introctory Phrases, Projection
授業の進め方・学習方法・課題				15	UNIT 5 Education	Introctory Phrases, Projection
テキストに沿ってパラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。				16	Assesment	
				17	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				19	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				20	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
評価方法・成績評価基準				21	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30%				22	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
【成績評価基準】				23	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				29	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				30	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				31	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
実務経験教員の経歴				32	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				33	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	UNIT 1 Recommending a tour	お客様にツアー旅行をすすめる
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	UNIT 1 Recommending a tour	
学 年	2年	担当教員	皆川・鈴木	3	UNIT 1 Recommending a tour	
科 目 名	English for Hospitality	時間数	68単位時間	4	UNIT 2 Taking a tour booking	バスツアーのブッキングを行う
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	UNIT 2 Taking a tour booking	
使用テキスト名	English for Toursim Professionals			6	UNIT 2 Taking a tour booking	
補助教材				7	UNIT 3 Escourting a tour	ツアーをエスコートする
				8	UNIT 3 Escourting a tour	
科目概要と科目到達目標				9	UNIT 3 Escourting a tour	
科目概要:教科書に沿ったダイアログ、ロールプレイを通じ、航空・ホテル・観光業に必要な英語力を養い、仕事で使える英語力を習得する。				10	UNIT 4 Welcoming international tourists	海外からのお客様を出迎える
				11	UNIT 4 Welcoming international tourists	
				12	UNIT 4 Welcoming international tourists	
				13	UNIT 5 Taking an airline reservation	航空チケットの予約
14	UNIT 5 Taking an airline reservation					
授業の進め方・学習方法・課題				15	UNIT 6 Giving flight information	フライト情報を提供する
テキストに沿ってパラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。				16	UNIT 6 Giving flight information	
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	UNIT 7 Helping passengers check in	乗客のチェックインを手伝う
				18	UNIT 7 Helping passengers check in	
				19	UNIT 8 Working at the boarding gate	ボーディングゲートにて働く
				20	UNIT 8 Working at the boarding gate	
評価方法・成績評価基準				21	UNIT 9 Offering in-flight services	機内サービスを提供する
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30%				22	UNIT 9 Offering in-flight services	
				23	UNIT 10 Giving CIQ information	CIQについて学ぶ
				24	UNIT 10 Giving CIQ information	
				25	UNIT 11 Taking a room reservation	部屋の予約を取る
				26	UNIT 11 Taking a room reservation	
				27	UNIT 12 Welcoming guests	ゲストを迎える
				28	UNIT 12 Welcoming guests	
				29	UNIT 13 Helping guests	ゲストを手伝う
				30	UNIT 13 Helping guests	
				31	UNIT 14 Dealing with complaints	クレーム対応について
32	UNIT 14 Dealing with complaints					
実務経験教員の経歴				33	UNIT 15 Sending guests off	ゲストのお見送り
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
学 年	2年	担当教員	鈴木晴奈	3	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
科 目 名	English Project	時間数	34単位時間	4	著名人から学ぶプレゼンテーション技法①	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	著名人から学ぶプレゼンテーション技法②	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
使用テキスト名	PPT			6	著名人から学ぶプレゼンテーション技法③	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
補助教材				7	模擬練習①	与えられたテーマでプレゼンを行う
				8	模擬練習②	与えられたテーマでプレゼンを行う
科目概要と科目到達目標				9	フィードバック	与えられたテーマでプレゼンを行う
科目概要:学期末に行う学生自身の集大成発表にむけてプランニングとパフォーマンス練習を行う				10	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				11	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				12	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				13	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
				14	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
テキストなどの資料に沿って場面状況に応じてプレゼンをする。				16	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
				17	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
				18	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
				20	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30%				22	中間発表	ペアで模擬発表をしてみる
				23	フィードバック	
【成績評価基準】				24	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	模擬発表	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				30	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				31	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
実務経験教員の経歴				32	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				33	フィードバック	フィードバックと修正を行う
				34	フィードバック	フィードバックと修正を行う

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項	就職活動の心構え
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
学 年	2年	担当教員	矢後達夫	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科 目 名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
補助教材				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方	立ち居振舞について
科目概要と科目到達目標				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形	面接対策
科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験者2に対して面接官2人	面接対策
授業の進め方・学習方法・課題				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
就職試験の為の一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接について	集団面接で大切なこと
対面授業と遠隔授業の併用実施				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディスカッション	グループディスカッション
				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

【成績評価基準】

A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している

C=良(79-70点) 到達目標を達成している

D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している

E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得 I
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	2	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得 I
科 目 名	世界地理	時間数	17単位時間	3	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得 I
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	4	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得 I
使用テキスト名	地理×文化×雑学で今が見える「世界の国々」			5	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得 I
補助教材	パワーポイントスライド、一部「PDF教材」使用、			6	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得 I
科目概要と科目到達目標 海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解を深める。 映像を積極的に取り入れて理解度を深める。 前期と後期の定期テストで80%以上の得点を目指す。 次年度の世界遺産検定の受験推奨。				7	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得 I
				8	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得 I
授業の進め方・学習方法・課題 海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解を深める。 映像を積極的に取り入れて理解度を深める。 前期と後期に1～3回ずつオンラインツアー授業を実施する。				9	ハワイ	海外地理知識の習得 I
				10	オセアニア(オーストラリア)	海外地理知識の習得 I
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②課題20% ③授業への積極的参加20% ④学習意欲(態度)10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	オセアニア(ニュージーランド・ポリネシア)	海外地理知識の習得 I
				12	中南米	海外地理知識の習得 I
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				13	中東・アフリカ	海外地理知識の習得 I
				14	中東・アフリカ	海外地理知識の習得 I
				15	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得 I
				16	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得 II
				17	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得 II
				18	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得 II
				19	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得 II
				20	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得 II
				21	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得 II
				22	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得 II
				23	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得 II
				24	ハワイ	海外地理知識の習得 II
				25	オセアニア(オーストラリア)	海外地理知識の習得 II
				26	オセアニア(ニュージーランド・ポリネシア)	海外地理知識の習得 II
				27	中南米	海外地理知識の習得 II
				28	中東・アフリカ	海外地理知識の習得 II
				29	中東・アフリカ	海外地理知識の習得 II
				30	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得 II
				31	各地域を映像で振り返り	ヨーロッパ
				32	各地域を映像で振り返り	アジア
				33	各地域を映像で振り返り	アメリカ
				34	各地域を映像で振り返り	オセアニア・アフリカ

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第一課～第九課まで復習	一年で学習した範囲を復習する
学 科 名	全学科	必須・選択	選択必修	2	第十課	「主述述語文」「了」の習得
学 年	2年	担当教員	富田	3	第十課	「少し」の言い方の習得
科 目 名	第二外国語中国語Ⅱ	時間数	68単位時間	4	第十課	願望・意思を表す助動詞の習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第十一課	動作の進行を表す表現の習得
使用テキスト名	中国語への道【初級編】－近きより遠きへ－改訂版			6	第十一課	「連動文」の使い方を学ぶ
補助教材	中国語検定過去問題			7	第十一課	「結果補語」の習得
科目概要と科目到達目標 中国語検定試験4級取得または4級取得程度の文法と単語を習得する。 文法の確認を中心にしながら中国語の基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や観光等の場面で、 現地で通じる中国語の習得を目指す。				8	第十一課	動詞や形容詞で名詞を修飾する文を学ぶ
				9	中国語検定準4級対策	中国語検定準4級合格レベルに到達する
授業の進め方・学習方法・課題 主に講義を通じて、文法を確認しながら、日常のさまざまな場面で使える中国語を学ぶ。 発音の訓練を継続的にを行い、適宜検定の過去問題にも取り組む。				10	中国語検定準4級対策	中国語検定準4級合格レベルに到達する
				11	第十二課	可能を表す助動詞の習得
				12	第十二課	必然・当然を表す助動詞の習得
				13	第十二課	強調構文の習得
				14	第十三課	様態補語の習得
				15	第十三課	二重目的語をとる動詞とその使い方を学ぶ
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	第十三課	受身文の習得
				17	前期試験	前期学習内容の定着
				18	第十四課	存現文の習得
				19	第十四課	方向補語の習得
				20	第十四課	可能補語の習得
				21	第十四課	処置式文の習得
				22	第十五課	状況を確認する「是不是」の表現を習得
				23	第十五課	場面ごとの「また」の種類について学ぶ
				24	第十五課	反語表現について学ぶ
				25	第十五課	使役文を習得
				26	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				27	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				28	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				29	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				30	第十六課	重要な複文の習得
実務経験教員の経歴				31	第十六課	禁止表現の習得
				32	第十六課	「有」を使った兼語文について学ぶ
				33	テキストのまとめ	本文の暗唱やリスニング問題に取り組む。
				34	後期試験	後期学習内容の定着

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学 科 名	全学科	必須・選択	選択必修	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
学 年	2年	担当教員	柳・宇都宮	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
科 目 名	韓国語Ⅱ	時間数	68	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	パッチム	位置や場所を話すことができる
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			6	文字の復習	文字についての総まとめ
補助教材				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
科目概要と科目到達目標 科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする 科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買います	予定について話す
				15	前期 復習①	テキストの復習
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	前期 復習②	テキストの復習
				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
実務経験教員の経歴				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
				32	後期 復習①	テキストの復習
				33	後期 復習②	テキストの復習
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学 年	2年	担当教員	北村/坂上/矢後	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科 目 名	国際理解Ⅱ	時間数	34単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案